

■ビジネス町内会（後篇）■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 391 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてはほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

391 目次

1. トピックス：すみだ EXPO2022 の再度ご案内
2. ブログより：ビジネス町内会（後篇）
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：すみだ EXPO2022 の再度ご案内

先週 10/10 に引き続き、すみだ EXPO 内で「松村デイ」を開催しますので、是非ともお越しください。

名称：「国づくり・よろず相談会」by 松村拓也

日時：10/24(月) 10-17 時

場所：バーバーアラキ・八島花文化財団準備室内

(墨田区京島 3-20-5)

内容：「地主の学校(文芸社刊)」の著者：松村拓也による気軽なよろず相談所

参加者・当日の気分で、討論したり散策したり、どうなることやら？

.

【すみだ向島 EXPO2022 基本情報】<https://sumidaexpo.com/>

開催期間：2022 年 10 月 1 日(土)~10 月 31 日(月)

定休日：火・水曜日

開催エリア：東京都墨田区京島・八広・文花 ほか

総合受付：京島駅 (〒131-0046 東京都墨田区京島 3 丁目 50-12)

— 公式 SNS —

Twitter：https://twitter.com/nagaya_art

Instagram：http://instagram.com/sumida_expo

Facebook：<https://www.facebook.com/sumidaexpo2022>

イベントの参加方法については、こちらをご参照ください。

<https://sumidaexpo2022.peatix.com/>

また、財団設立に向け、クラウドファンディングも開始しましたので、合わせてごらんください。

<https://motion-gallery.net/projects/ysh-zaidan/updates/43313>

・
お問い合わせは、このメールに返信ください！

・・・・・・・・・・・・・・・・

2. ブログより：ビジネス町内会（後篇）

空き家問題の本質は、それがもたらす迷惑でなく、その発生や増加が地域社会の衰退を示していることなのに、そうした議論が聞こえてこないことに、僕は強い憤りを感じている。

一見「空き家の解消」に取り組んでいると思われるかもしれないが、僕が目指すのは「地域社会そのものの存続」だ。

そこで前篇では、日本各地で地域社会の活力を永く担ってきた神社仏閣や町会、商店街を振り返り、それらに活力をもたらしたものに思いを馳せた。

そして辿り着いた諸悪の根源は、「職住分離」という言葉に集約されるだろう。

明治維新以前の日本は、およそすべての地域社会が基本的に自給自足で存続してきた。

生産や販売などすべての事業を集約化・合理化することで、日本が驚異的な発展を遂げたことは確かだが、その結果もたらされた職住分離が、地域社会を淘汰している。

・

働きやすい地域や、住みやすい地域が活気づき、繁栄するのは素晴らしいことかもしれない。

だが一方で、そうした「成功した地域」だけが残り、残りの「失敗した地域」が廃れていくので良いのだろうか。

これが会社やビジネスなら、失敗したらひとまず整理してから出直せばいいかもしれないが、地域社会はそうはいかない。

助け合いながら世代を重ねて生き続けることこそが地域社会＝地域コミュニティの目的だ。

はるか昔、人類が生まれた頃の地域コミュニティは、その存続をかけて戦いに明け暮れていた。

食べるため、生きるために他の動物や自然の脅威と戦い、縄張りを守るため周囲の敵と戦った。

そして、強者が弱者を従えたり、相互に補完し合ったりしながら地域社会が組織化された状態を「国」と呼ぶようになった。

・

だがこれは、「国は地域の平和を守るためなら、戦争の名の元に殺人や破壊を行って良い組織」という意味であり、この世界は「国」という戦争組織の集合体だ。

戦争を許容しているかぎり、世界の誰もロシアを止められないのは当然だ。

そんな世界で、一気に強国にのし上がった日本は、先の戦争で完膚なきまでに叩きのめされた末に無条件で降伏し、戦争を放棄した唯一の「国」だ。

だからこそ、世界平和を唱えるべきというのは容易いが、その実現はおぼつかない。

繰り返しになるが、日本以外のすべての国は戦争を容認し「仕方ない」と諦めているのだから。

でも世界の人々は、国の集合体としての世界でない「新しい世界」を模索しているのも確かだ。

・

その一つが、グローバル＝国境を越えた「一つの世界」で、通信、運輸、経済がすべての人を直接つなぎつつある。

そしてもう一つが、ローカル＝国単位で無い「無数の地域社会」で、独自の人間、空間、時間が織りなす世界の多様性をもたらしている。

この二つは、新しい世界の表裏や陰影のごとき一体で、つなぐ側とつながれる側の関係にある。
そんな世界に生きる僕たちは、インターネットを介して世界とつながった気になっているが、果たしてそうだろうか。

そこはあくまで仮想空間で、現実の世界を疑似体験しているにすぎない。

つまり、僕たちは世界を楽しむ側だけでなく、楽しを提供する世界そのものの一部にもなる必要がある。

・

そこで僕の提案は、ビジネスの近所づきあいを推進する「ビジネス町内会」。

ビジネスを、国単位だけでなく、地域コミュニティ単位でやるべきだと、僕は強く思う。

その目的はただ一つ、世界から戦争を無くし、平和で楽しくしたいから。

かつてのように自給自足できずとも、地域の独自性や強みを生かして何とかやりくりしたい。

たとえ貧しくても、何とか破綻せずに存続したいのが地域社会だ。

私的な役割を担うのが民間で、公的な役割を担うのが行政という分担が、そもそも職住分離を促進している。

僕たちがまずすべきことは、公を官に任せずに、自分たちで公と私の両方を担うコミュニティを作ること。

それが「私的なビジネス」と「公的な町会」の融合だ。

経済の自給自足の前に、官民や公私の自給自足を目指したい。

<https://nanoni.co.jp/20221014/>

.....

3. 今週+今後の予定（下記以外はすべて応相談）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

■今週の予定

(火) 10/18 なのに（各所）作業日

(水) 10/19 なのに（各所）作業日

(木) 10/20 なのに（各所）作業日

訪問○：09-11時 弁慶果樹園（藤沢）

交流◎：13-17時 笑恵館なるほどデイ（笑恵館）

会議×：20-21時 AR子ども書籍MTG（zoom）

(金) 10/21 なのに（各所）作業日

会議×：10-12時 HFA定例会議（恵比寿）

(土) 10/22 なのに（世田谷）作業日

交流◎：09-17時 よろず相談会（笑恵館）

(日) 10/23 いづみ（横浜）作業日

交流◎：09-17時 いづみPJTオープンデイ（反町）

交流◎：12-14時 いづみPJT説明会（反町）

交流○：10-14時 名栗の森オーナーシップクラブ月例会（飯能）

(月) 10/24 なのに（墨田）休業日

交流◎：10-18時 国づくり・よろず相談会（すみだEXPO2022）

会議○：22-23時 八島花文化財団準備室MTG（zoom）

■定例の予定

- 月曜・第 2,4 22-23 時 ○八島花文化財団準備室 MTG (zoom)
- 火曜・第 2 18-20 時 ○LR 定例営会議 (zoom)
- 第 4 20-21 時 ○LR 定例営会議 (zoom)
- 水曜・第 1 10-12 時 ○OforW 経営運営会議 (zoom)
- 木曜・第 2 15-16 時 ×かなこ PJT (zoom)
- 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 第 3 13-18 時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
- 18-20 時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
- 20-21 時 ×AR 子ども書籍 MTG (zoom)
- 第 4 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 20-21 時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)
- 金曜・第 1 08-09 時 ○地主の学校ゼミ (zoom)
- 土曜・毎週 09-17 時 ◎よろず相談会 (笑恵館)
- 第 3 12-14 時 ×RYUSEN PJT (zoom)
- 日曜・毎週 09-17 時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)
- 第 1 10-11 時 ×100smile 会議 (zoom)
- 第 4 10-14 時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

- 11/14 交流× : 17-20 時 K君 MTG (日本橋)
- 11/20 交流○ : 15-17 時 いづみ・トラウマセミナー (反町)
- 11/22-24 出張× : 堺・有田・冷水視察 (大阪・和歌山)
- 12/01-06 旅行× : 結婚 40 周年 (モルディブ)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：株式会社なのに（取締役・平社員）
〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1
<http://nanoni.co.jp/>

職場：一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）
<http://land-resource.org/>
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館
<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：
特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）
<http://www.home-for-all.org/>
一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）
<https://localrepublic.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>